

施策評価シート

令和 5 年度

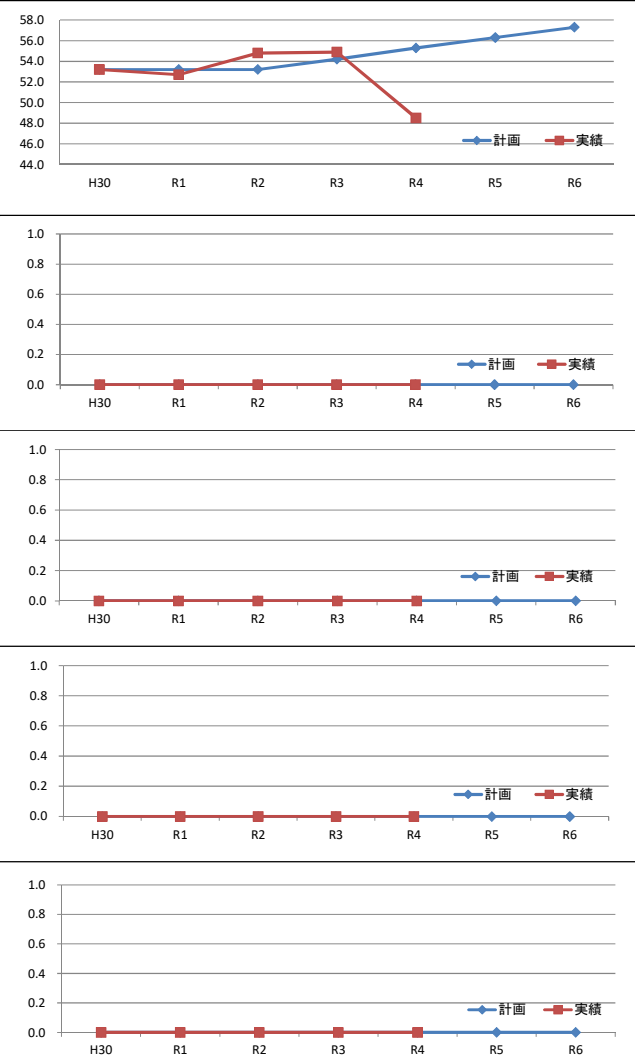
総合 体系 計画	分野	2	第2章	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	施策統括課	都市政策課
	施策No.	4	施策名	計画的な土地利用の推進	課長名 (施策統括責任者)	福田 秀典
	関係課	都市政策課 用地対策課 建築指導課 北部建設事務所 南部建設事務所				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	自然と都市が調和した計画的な土地利用が行われている。
取組方針	効率的で持続可能な都市経営の観点から、多様な都市機能が集積する中心市街地などの既成市街地と個性のある周辺地域の、それぞれの役割と規模に応じた拠点性の向上を図りながら、自然と都市が調和した計画的な土地利用を推進します。また、中山間地域においては、豊かな自然環境と地域住民の生活環境との調和を図りながら、自然の持つ多面的機能を将来世代が享受できるように、土地の適切な管理・保全を図ります。

2. 施策の意図と成果指標

対象 (誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	市民											
意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)	各種法規制の運用等による適正な土地利用の規制・誘導、計画的な地籍調査の実施等を行い、自然と都市が調和した計画的な土地利用が行われていると感じる市民の割合を高める。											
成果指標 A							単位					
自然と都市が調和した計画的な土地利用が行われていると感じる市民の割合							%					
H30 基準	R1	計画実績	R2	計画実績	R3	計画実績	R4	計画実績	R5	計画実績	R6	目標
53.2		53.2		53.2		54.2		55.3		56.3		57.3
		52.7		54.8		54.9		48.5		0.0		
成果指標 B							単位					
-							%					
H30 基準	R1	計画実績	R2	計画実績	R3	計画実績	R4	計画実績	R5	計画実績	R6	目標
0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
成果指標 C							単位					
-							-					
H30 基準	R1	計画実績	R2	計画実績	R3	計画実績	R4	計画実績	R5	計画実績	R6	目標
0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
成果指標 D							単位					
-							-					
H30 基準	R1	計画実績	R2	計画実績	R3	計画実績	R4	計画実績	R5	計画実績	R6	目標
0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
成果指標 E							単位					
-							-					
H30 基準	R1	計画実績	R2	計画実績	R3	計画実績	R4	計画実績	R5	計画実績	R6	目標
0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		



## 施策評価シート

### 3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	39.8%	41.7%	↑
ある程度重要である	44.3%	41.0%	↓
あまり重要ではない	5.9%	6.9%	↑
重要ではない	0.7%	0.9%	↑
順位	22/36位	18/36位	↑

施策の満足度	前回	今回	
満足している	2.7%	2.1%	↓
どちらかといえば満足	36.6%	36.8%	↑
どちらかといえば不満	35.3%	35.4%	↑
不満である	7.4%	8.3%	↑
順位	33/36位	33/36位	⇒

### 4. 社会潮流等の変化について（第2次総合計画策定時からの市民ニーズの環境の変化、法整備状況等）

- ・有明海沿岸道路（大川佐賀道路・福富佐賀道路）の（一部）開通により、市外からの空港等の利用者が増加している。
- ・SAGAサンライズパークの整備により、佐賀駅北側に新たな人の流れが創出された。
- ・人口減少社会への移行に伴い、空き地・空き家の増加が大きな社会問題となっている。
- ・ポストコロナとなり、在宅ワークの進展により、どこでも働ける環境が整い、働くにも住むにも快適な環境へのニーズが高まっている。
- ・スマートフォンなどのデジタル技術の進歩により、それらを活用したサービスやAI技術が進歩している。

### 5. 施策を推進していく上での新たな課題、新たな視点

- ・「土地の有効利用の推進」においては、新たに有明海沿岸道路や有明佐賀空港を活用した土地利用やSAGAサンライズパークから佐賀駅までの土地利用、空き地・空き家の有効活用を推進していく必要がある。
- ・「土地利用の規制・誘導」においては、職住近接へのニーズに対応する土地利用、DXによる土地利用などにより規制・誘導を行う必要がある。

### 6. 施策の課題解決に向けた今後の取組の方向性・内容等

- ・有明海沿岸道路等の開通を見据えた南部地域の新たな土地利用の検討
- ・SAGAサンライズパークから中央大通り、佐賀城公園までの南北軸の強化による魅力向上
- ・危険な空き家中心の対策だけでなく、空き家を発生させない、危険な状態にさせない対策の推進
- ・ニューモビリティの導入や歩きたくなるまちづくりの推進